

英文和訳道場 第1回 文型①

組 () 番号 () 氏名 ()

In the history of civilization advances in practical invention undoubtedly preceded progress in the theoretical knowledge of the phenomena concerned with such practical invention.

【九州大】

和訳

ポイント

この和訳のポイントは「前置詞＋名詞」を他から切り離して読むこと、そして同形反復に注意し読むことです。「前置詞＋名詞」の役割は「①形容詞」、「②副詞」でしたね。英語が読めることの第一歩は、この「前置詞＋名詞」を他から切り離して、それが形容詞なのか、副詞なのかを考えながら読めること。一週間くらい練習すれば慣れてきます。次に英語の美しい対称形を意識しながら読むことが大切です。藪下が面倒でも見取図を書くのは、このシンメトリックな美しさを目で見て確かめて欲しいからです。これは日本人の僕らには直感的には分かりません。見て目に焼き付けてゆかないと思われず。

- ①「前置詞＋名詞」を他から切り離して、それが「形容詞」か「副詞」かを考える。
- ②英語の持つシンメトリック（symmetric=対称性を持つ）な美しさを見抜く。

さて、初の大きな関門である A of B の「B」を特定することです。Bには次の2つの可能性があります。

- ① in <the history> of <civilization> 文明の歴史の中で
- ② in <the history> of <civilization advances> 文明の進展の歴史の中で

語彙力があれば②だと考えると変だなあと気がつきます。なぜなら「文明の進展」は advances in civilization になり、civilization advances にはなりません。As civilization advances, ~で「文明が進歩するにつれて」の意味ですが、これでは advances は動詞になってますね。万が一 civilization advances が「文明の進歩」の意味の正しい表現だとしましょう。それなら、precede は「先行する」という他動詞だから、その主語が見あたらない。他動詞 precede は SVOの第3文型を導くので、倒置は考えられない。これで②の可能性がなくなりました。

in <the history>of<civilization advances>
↑
in practical invention

??	undoubtedly precede	progress
S	V	O

・実用的な発明における文化進展の歴史の中で、??は進展に先行する。

だったら①の可能性しかない。さらに advances も progress も同意語で「進歩・発展・前進・進展・普及」。そこから、対比・対照されているのが「実用的な発明の普及」と「それについての論理的な知識の普及」と分かる。あとは concerned 以下が phenomena を飾る形容詞だと分かればこっちのモノ。

見取図

In <the history>of<civilization>		
advances	undoubtedly preceded	progress
主	先行する	何に
↑ in practical invention		↑ in <the theoretical knowledge>of<the phenomena>
		concerned with such practical invention

この見取図をよく見ると、主語と目的語（何を）が対称形をしているのが分かります。主語と目的語の名詞を「前置詞＋名詞」が後ろから飾ってるのが分かりますか？ほら、とっても綺麗でしょ！これを見抜くには前のところで言った読み方です。ちなみに、この九大の英語は悪文です。初めから In the history of civilization, advaces ~のように、civilication の直後にコンマ(,)を打つべきです。日本の英語入試で「良問」と言われているモノのほとんどが「悪文」です。これ、何とかしてもらいたいですよ。

【全訳例】文明の歴史の中で、実用的な発明が普及する方が、その（実用的な発明に関連する）現象についての論理的な知識が普及するよりも、先に来ることは疑いのないことである。